

目標達成計画

事業所： グループホーム いずみの里

作成日： 平成26年 8月 18日

市町村受理日：平成26年 8月 25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	GHでの生活は日課やリズム、コンプライアンスを意識するあまりどうしてもルーティンワークだけに終始しがちでケアプランがなくても生活は成り立ってしまう。日常のケアの場面でどのような点に注意、観察する必要があるのか、一人ひとりが把握して関わりの結果と関連する情報を記録に残せているとは言えない。ケアの実践を「記憶」から「記録」として残し評価に繋げる事が課題	ケアプランとケア（実践）と介護記録連動させて書くことで記録の積み重ねから新たな気づき、実施（実践）状況を客観的に見て、更なる関わり、ケアの向上、記録を基にケア方針を検証、評価、ケアプランの更新に繋げていく	1、ケアプラン委員会の立ち上げ 2、課題改善に向けての勉強会 3、ケアプラン勉強会（アセスメント～プラン立案まで） 4、ケアプランの実施（実践）を明確にするための工夫、取り組み、話し合い 5、ケアプランと連動した記録様式の開発 6、実践検証	1年
2	35	地域住民へ避難訓練の参加協力の呼びかけなど自然災害や大規模停電など予期せぬ事態を想定した災害対策への備えができていない	日常のお付き合いの中でGHの理解と「災害時要援護者避難支援」施設であることを発信していく。町内会防災組織の中での位置づけ、町内会防災区域マップにも明記していただけないか要望・要請し、いざという時に助けていただける協力体制を構築し災害時に備える	1、訓練計画は早めに立案し、運営推進会議の都度、近隣・地域住民の訓練参加の協力依頼、「災害時要援護者避難支援」施設であることを発信をしていく 2、具体的役割についても協議（例えば避難後の見守り、軒先を借りる、救護など職員側から発信できるようにする） 3、春・秋の他に自主訓練を実施し予期せぬ事態に備える	1年
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。